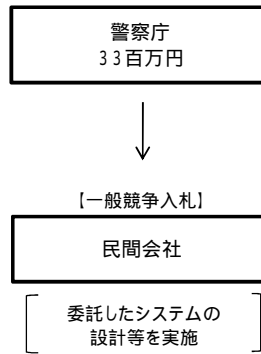


平成25年行政事業レビューシート (警察庁)

事業名	集团的不良交友関係対策を効果的に推進するためのシステム構築		担当部局	生活安全局		作成責任者			
事業開始・終了(予定)年度	平成25年度		担当課室	少年課		少年課長 藤村 博之			
会計区分	一般会計		政策・施策名	市民生活の安全と平穩の確保 1 総合的な犯罪抑止対策の推進					
根拠法令 (具体的な条項も記載)	少年警察活動規則		関係する計画、通知等	犯罪に強い社会の実現のための行動計画2008(平成20年12月 犯罪対策閣僚会議) 再犯防止に向けた総合対策(平成24年7月 犯罪対策閣僚会議)					
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	刑法犯少年の検挙人員が人口比で成人の4倍以上に上るなど少年非行情勢が依然として厳しい中、特に再非行者率は昨年まで15年連続で増加し過去最高となっており、再非行対策が喫緊の課題となっている。そこで、再非行の大きな要因となっている不良交友に代わる「居場所」づくり等により、非行少年の立ち直り支援を一層的確に推進すること等を目的とする。								
事業概要 (5行程度以内。別添可)	非行少年の立ち直りの大きな阻害要因となっている集团的不良交友関係に関する情報を適切に管理し、現場において、旧来の「待ち受け型」ではなく、警察側から手を差し伸べる「出前型」の立ち直り支援活動等の推進に効果的に活用するため、情報システムの標準モデルを設計・開発し、その成果物であるソフトウェア及び使用マニュアルを都道府県警察に提供する。								
実施方法	直接実施	委託・請負	補助	負担	交付	貸付	その他		
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算 の 状 況	当初予算	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求		
		補正予算	-	-	-	33	-		
		繰越し等	-	-	-	0	-		
		計	-	-	-	33	-		
	執行額	-	-	-	-	-	-		
	執行率(%)	-	-	-	-	-	-		
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (年度)	
	(成果目標) 総合的な犯罪抑止対策の推進(少年非行防止対策) (参考指標) 刑法犯少年の検挙人員			成果実績	人	-	-	-	
				達成度	%	-	-	-	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込	
	(活動指標) ソフトウェアの開発及び使用マニュアルの作成 (活動実績) ソフトウェア及び使用マニュアルの作成数			活動実績 (当初見込み)	式	-	(-)	(-)	(1)
単位当たりコスト	(33,034千円 / 事業)			算出根拠	25年度当初予算額				
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由					
	設計費等	33							
	計	33							

事業所管部局による点検						
	項目		評価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。			刑法犯少年の検挙人員が人口比で成人の4倍以上に上るなど少年非行情勢が依然として厳しい中、特に再非行者率は昨年まで15年連続で増加し過去最高となるなど、少年の再非行防止対策は喫緊の課題となっており、優先度は高い。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。					
事業の効率性	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。			-		
	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		-			
	受益者との負担関係は妥当であるか。		-			
	単位当たりコストの水準は妥当か。		-			
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		-			
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		-			
事業の有効性	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		-	-		
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		-			
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		-			
重複排除	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		-	-		
	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-			
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
点検結果	<p>1 資金の流れ等の事業計画の適切性 事業計画に基づき作成された「仕様書」により契約履行状況を適宜確認し、履行完了時における検査後、契約事業者に対し支出を行うこととしており、資金の流れに問題はない。</p> <p>2 透明性の確保の状況 一般競争入札により契約事業者を選定することとしており、開札は参加者立ち会いの下で執行することで透明性を確保する。</p>					
外部有識者の所見						
外部有識者の点検対象外						
行政事業レビュー推進チームの所見						
計画的かつ確実に事業を執行すること。						
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
現状通り	特になし(事業の終了)。					
備考						
特になし。						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
	平成22年	-	平成23年	-	平成24年	新25-2

平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
しているかについて補足する)
(単位:百万円)